

平成24年度 横浜市踊場公園こどもログハウス維持管理計画概要書

指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会

項 目		内 容
1 施設の維持管理体制		(1) 館長 1人 コミハと兼務 (2) スタッフ 10人常時2人体制のローテーション
2 施設の維持管理に関する考え方	設備の保守管理	(1) 定期清掃 床清掃年12回、窓ガラス清掃、壁、天井等清掃、 網戸清掃各年2回、換気扇清掃年4回 (2) 機械警備 常時 (3) 害虫駆除 全館クリーンアップ年2回、 (4) 消火器点検 年1回
	施設の清掃	幼児、こどもは裸足で遊ばせることから、2名のスタッフの清掃分担、手順を明確にし、隅々まで落ちのない清掃を行うように努めている。 Aスタッフ 掃除機をかける。テーブルを拭く。 Bスタッフ エントランス、玄関を掃く、拭く、下駄箱すのこを拭く、トイレ、流しの掃除、モップがけ、ベランダ掃除、花の水遣り等
	施設の点検	幼児、こどもの安全について管理の責任を持つという強い使命感を持って施設の点検を行っている。 午前3回、午後2回の見回りを実施し、施設、遊具の安全確保を図っている。
	植栽の維持管理等その他の維持	季節を感じ心豊かになるように出入口脇に花壇を設置している。花の種、球根は緑の協会『花やぐまち事業』から購入している。夏の日差しを弱くするゴーヤカーテンを計画 公園愛護会のじょうろを保管している。美化活動に協力できる時は、花壇の水遣りや広場の清掃も行うようにしている。
3 施設の安全管理に関する考え方		屋内施設であることから、人と人との接触事故が予想される。2名のスタッフのうち1名はこどもの動きを常に見守る体制をとっている。また、利用するこどもが約束事や、遊具の使い方を理解するように図やイラストを使ったパンフレットを学校に配布したり掲示したりして事故防止に努めている。事故発生時、迅速に的確に行動できるよう定期的に訓練を実施している。

※施設の維持管理の内容がわかる各保守管理等の仕様書等を添付してください。

事業計画書様式 2 - 1

平成 2 4 年度 踊場公園こどもログハウス 指定管理者事業計画書			
団体名	公益社団法人とつか区民活動支援協会		
代表者名	理事長 金子 正治	担当者	馬場 庄一
団体所在地	横浜市戸塚区上倉田町 4 4 9		
電話番号	8 6 5 - 3 9 4 6	FAX 番号	8 6 5 - 3 9 4 9

1 平成 24 年度の管理運営に関する基本方針について

(1) 区政運営上の位置づけ

戸塚区では将来を担うこどもの育成に向けて区政運営上の基本目標として「地域ぐるみのいきいき子育て支援」を掲げています。子どもログハウスは、こどもの心身の発達に大きな役割を果たす重要な施設であり、こどもの居場所、遊び場所となっています。公益社団法人とつか区民活動支援協会は、将来を担うこどもの遊び場所として、求められる公共性を十分に理解し、業務を円滑、適切に執行することが区政基本目標の実践の場に位置づくことと捉え、引き続き充実に向け推進します。そのため以下のことを基本としてログハウスの管理に努めたいと考えます。

(2) 管理運営に関する基本方針

ア こどもは冒険心にかられる遊びにいつも夢中です。一人ひとりのこどもの見守りを通して、自分のやりたいことを自分の力で探す、自主性や失敗を恐れず自ら考え行動する勇気、困難から逃げずにやりぬく根気、こうした強さを育む施設としての管理にあたります。

イ こどもの遊びは本来仲間とのかかわりで成り立つものです。時には、地域の支援をいただきながら、こどもの遊びを通して友だちを得、仲間とのかかわり方を学んでいくよう自主事業を計画する施設としての管理にあたります。

ウ 異年齢のこどもたちが利用する屋内施設です。夢中で遊ぶこども同士の接触事故や遊具からの転落事故もあるかもしれません。遊びの主人公はこどもであることを常に念頭におきながらも危険余地判断と適切な助言が必要となります。こども一人ひとりの見守りと、館内外の日常清掃、遊具の点検、巡回点検にも万全を図り、安全で快適な遊びができる施設としての管理にあたります。

エ 「ログ新聞」「チラシ」「町内会掲示ポスター」「広報よこはま」「HP」を通して利用情報の提供に努力し、どの子も利用しやすい施設としての管理にあたります。

2 平成24年度の施設の運營業務について

- (ア) 利用者へのサービスの提供
- (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方
- (ウ) 利用者会議の開催の考え方

(ア) 利用者へのサービスの提供

利用者がこども、幼児、中学生であることから、スタッフは一人ひとりのこどもの理解に努めることを基本に、こどもの自己肯定感や創造性、主体性が育つように接します。

(1) 親切、丁寧、笑顔をもットーにした対応

「夢中で遊ぶこどもたちに意欲と思いやりが育つよう心がけるポイント集」を身近に置き、こどもの名前を覚えることやこどもの理解を基本においた心の通う接遇に努めます。

(2) 安全・安心な遊び場の提供

遊具の管理、日常の保守点検、こどもの見守りに細心の注意をはらい、夢中で遊ぶこどもたちが安全に安心して遊べるように心がけます。

(3) 利用しやすい受付案内

スタッフ2名のうち、1名は受け付け窓口に向かって座り、1名は館内を見渡せる位置に座り、利用者だれでも声を掛けやすいよう心の通う接遇に努めます。

(4) 適切な利用情報の提供

館内の掲示物や印刷物の漢字にはルビをふったり、図やイラストを取り入れたり等、工夫し誰でも理解しやすく読みやすい掲示物、印刷物の情報提供に心がけます。

(5) 広報・PRの実施

- ・年3回発行のログ便りを各町内会の会合や近隣小学校4校（汲沢小・東汲沢小・葛野小・矢部小）に届け、広く地域に情報を提供していきます。
- ・協会のホームページで各事業の紹介をするほか、戸塚区役所の「お届け便カレンダー」、プラネット神奈川に情報にも提供していきます。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方

(1) 利用者が意見や苦情を述べやすいように、施設入口に「感想箱」を設置します。スタッフは毎週火曜日に「感想箱」を開き、利用者の質問や意見の解決策を検討します。作成した回答を館長や事務局も目を通し、全職員で利用者の意見や苦情を聞き取るシステムとします。また、回答を公表し、利用者に親しまれるログハウスを目指します。

(2) 利用者や地域住民の意見や展望の把握に努めるよう利用者アンケート、地域アンケートを実施します。集計結果と改善策を公表し利用者ニーズをいかした運営改善に心がけます。

(3) 館長は定例踊場連合町内会役員会議に出席し、地域の要望収集に努めます。また、ログハウスのPRに努めます。

3 平成24年度の施設の経営について

- (ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画
- (イ) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等）の計画
- (ウ) 管理経費の節減計画

(ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画

年間36000人（月3000人）の利用者を目標とします。

施設の広さに余裕があるわけではないことから、安全確保上目標値にこだわるわけではありません。しかし、区内に1つだけの屋内こども向け遊び場ということで、できるだけ多くのこどもや保護者にログハウス施設を知ってもらえるように協会ホームページ等でPRに努めます。

昨年は、踊場公園こどもログハウス設立20年目を迎えました。ますます発展するようにと、踊場地区の各種団体が中心に北汲沢町内会とも連携協力して、青少年育成事業を展開してくださいました。このイベントを機にログハウスを利用してなかったこどもたちも親しんで利用してくれるようになりました。このチャンスを生かし様々なアイデアを計画し、たくさんの子どもの利用増を図ることに努めます。

利用料金収入計画はありません。

- (イ) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等）の計画
ありません。

(ウ) 管理経費の節減計画

- 自主事業の材料は極力廃品を活用します、現在も文具は最後まで使い切る等、少ない予算での効率的な執行に心がけています。
- コピー機は使用時のみ電源を入れます。
- ファックス用紙は不要になったコピー用紙を使用します。
- こども向けの図書は購入せず横浜市中心図書館や地区センターの廃棄図書を利用します。
- 来館者に呼びかけ館内のゴミの発生を最小限にとどめます。
- 管理費に関わる委託契約については、競争性を高めるとともに、複数年契約など経費の削減を図ります。

5 平成 24 年度の施設の運営体制等について

- (ア) 職員の配置計画
- (イ) 緊急時の連絡体制

(ア) 職員の配置計画

館 長

・半日を単位として週 2 回ログハウスに勤務し、スタッフの指導と助言にあたります。

スタッフ

○ 10 名によるローテーションの勤務体制をとります。

時 間 帯	勤 務 時 間	配 置 職 員 数
9:00～13:00	4 時間	2 名
13:00～17:00	4 時間	2 名

○ スタッフの日常業務

- ・ 受付 ・ 安全・快適な遊びのための見守りと子どもたちへの助言
- ・ 館内外の日常清掃 ・ 利用前後の遊具の確認 ・ 巡回点検
- ・ 誤った使用方法など事前の注意事項の表示と徹底 ・ 事故災害等への対応
- ・ 自主事業の企画立案及び実施 ・ 利用状況の把握と報告書作成送付
- ・ 運営に付随する軽易な庶務経理事務 ・ 貸出書籍、ロッカーの対応
- ・ 個人情報保護による当日文の貸出票のシュレッダー掛け

(イ) 緊急時の連絡体制

- 館長連絡先や協会事務局、医療機関、警察、消防、警備会社、土木事務所等の連絡先を電話機前に貼り付け緊急連絡体制がスムーズに運ぶようにします。
- 館長不在時には第一報を協会事務局に報告して指示を仰ぎ、意思決定に手間取らないようにします。
- ミーティングでは常に危機管理マニュアルに触れた研修を重ねます。また、新年度早々「不審者侵入」、「火災」、「大地震」、「高い所からの落下」の事態を想定したスタッフ対応訓練を実施し、どのスタッフも緊急時的確な行動が素早くとれるようにします。
- 勤務中に大地震があり、大きな混乱が予想される場合や大きな余震が発生する可能性の高い場合は、「休館」「避難する場所」「避難者の名前」を表示し、利用者を安全な避難場所に誘導します。館長は子どもの安全を守ることを第一とし、直ちにログハウスに向かいログハウスの体制を整えます。同時に人的物的被害を事務局に報告します。
- 横浜市内のいずれかの場所において「震度 5」以上の地震があった場合、ログハウスは休館とし、スタッフは自宅待機とします。

踊場公園こどもログハウス自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域交流イベント ・寒さに負けない遊び	(目的) ・暦の上では春が近い。まだまだ寒いこの時期、地域の方から戸外での遊びを教えていただき、昔からこどもは草木を素材におもちゃを作って遊んでいたことを教わる。 (内容) 未定(地域と相談)	1月末 1日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひな祭り工作	(目的) ・お雛様は女の子の無事な成長を願って昔から伝わる伝統行事だということを知り、工夫して家に飾るおひなさまを作る。 (内容) ・作り方にそって可愛いお雛様を作る。	2月中旬 先着100名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
折り紙コーナー	(目的) ・折り紙を使って、花や動物、オルガンやちょうちんを作り、1枚の紙から頭をひねり、手を使って表現する難しさ、楽しさを体験する。 (内容) ・1人2枚まで好きな色紙を選んで折り紙する。 ・折り方例を参考に自分の力で折り紙に挑戦する。	常時

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お絵かき・塗り絵コーナー	(目的) ・ぬり絵は年4回スタッフがぬり絵のキャラクターを変えたものを6種類置いておく。12色の色鉛筆も絶やすことなく準備しておく。こどもはぬり絵を一日1人1枚選ぶことが出来る。工夫した色をつける楽し (内容) ・1人1枚の塗り絵を丁寧に完成する。	常時

踊場公園こどもログハウス自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会 ・地域協力	(目的) ・読み聞かせを通して物語の面白さ体験する。 (内容) ・未就学児童対象。親子参加。 ・毎月第4水曜日午前10時45分開始	4月から2月 夏休み、 冬休みはお休み

踊場公園こどもログハウス自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもの日 青少年指導委員 主催	(目的) ・青少年指導員の方に作って遊ぶ楽しさを教わる (内容) ・午前10時～午後3時 ・頭をひねりながら自分が気に入ったおもちゃを作る ・作ったお・ちゃを使って下の公園で遊ぶ。	5月5日 1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日工作	(目的) ・5月の第二日曜日が母の日であることから、ログハウスで手作りブレゼントを作り、感謝の気持ちを伝える。 (内容) ・母の日の贈り物にふさわしい作品を作る。 ・感謝の気持ちの手紙を添える。	5月12日、13日 2日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日工作	(目的) ・6月の第三日曜日は父の日といわれていることからログハウスで手作り作品を作り、感謝の気持ちを伝える。 (内容) ・父の日の贈り物にふさわしい作品を作る。 ・感謝の気持ちの手紙を添える。	6月16日、17日、 2日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕祭り	(目的) ・館内2階に届く大きな笹に、願い事を掛けたり、折り紙で天の川やスイカを作って飾り昔からの伝統的な七夕行事を体験する。 ・一人ひとりの短冊が大きな笹の飾りつけとなる共同力を実感する。 (内容) ・短冊に願い事を書く。 ・折り紙を使って天の川や奴さん、ちょうちん等を作る。	6月末～7月7日 10日間

踊場公園子どもログハウス自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み工作	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティアから日常の要らなくなったものに手を加えて自分のおもちゃを新たに作ることの楽しさを教わる。 ・中学生ボランティアと一緒に作ったおもちゃを使って遊ぶことを通して、異学年の関わりを広げる <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の説明を聞きながらおもちゃを作る。 ・できたおもちゃで遊んだり、大会を開いたりする。 	8月土、日曜日 1日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
秋のイベント	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域の人から昔の遊びを教わり経験してきた遊びをさらに広げる。 ・遊び方を教わりながら地域の方への関心を高める <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未定(地域と相談) 	10月中旬日曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス工作	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなクリスマスツリーやサンタさんを作って飾り、12月の季節の風習を日常生活に取り入れる <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り方を見ながら自分の工夫したサンタやツリーを作る。 	11月下旬 先着100名

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成24年度踊場公園こどもログハウス自主事業計画書

(様式3)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
こどもの日 5月5日(土)	利用者	8,000円	0円	0円	8,000円		
	100名						
	0円						
母の日工作 5月12, 13日(土、日)	利用者	1,500円	0円	0円	0円	1,500円	
	100名						
	0円						
父の日工作 6月16, 17日(土、日)	利用者	1,500円	0円	0円	0円	1,500円	
	100名						
	0円						
七夕祭り 6月末～7月7日(土)	利用者	2,000円	0円	0円	0円		2,000円 (笹のお礼)
	300名						
	0円						
夏休み工作 8月4, 5日(土、日)	利用者	2,000円	0円	0円		2,000円	
	未定						
	0円						
秋のイベント 10月中旬	利用者	10,000円	0円	0円	8,000円	2,000円	
	未定						
	0円						
文化祭り(出張工作) 11月初旬	利用者	0円	0円	0円	0円	0円	
	未定						
	0円						
クリスマス工作 11月下旬	利用者	1,500円	0円	0円	0円	1,500円	
	100名						
	0円						
クリスマス会 12月中旬	利用者	25,000円	0円	0円	10,000円	2,500円	12,500円 (プレゼント)
	250名						
	0円						
地域交流イベント 1月下旬	利用者	8,000円			8,000円		
	100名						
	0円						
ひな祭り工作 2月中旬	利用者	1,500円	0円	0円	0円	1,500円	
	100名						
	0円						
おはなし会(年間8回) 7, 8, 12, 3月は休み 第4水曜日	幼児	5,000円	0円	0円	5,000円	0円	
	0円						
折り紙・ぬりえ(毎日)		9,000円	0円	0円	0円	9,000円	
合計		75,000円	0円	0円	39,000円	21,500円	14,500円

事業ごとに別紙に記載してください。

平成 24 年度第三者委託内容一覧

施設名 横浜市踊場公園こどもログハウス

NO	委託期間	委託内容	金額	業者名
	H24.4.1 ~ H25.3.31	消火器点検	¥3,150	(有)東晃防災
	H24.4.1 ~ H25.3.31	害虫駆除	¥31,500	(株)三共消毒
	H24.4.1 ~ H25.3.31	清掃	¥315,000	(株)横浜セイビ
	H24.4.1 ~ H25.3.31	機械警備	¥126,000	国際警備(株)
	H24.4.1 ~ H25.3.31	損害賠償責任保険	¥22,280	(株)コンチネンタル